

楽しく美しい まちづくり通信…⑤3

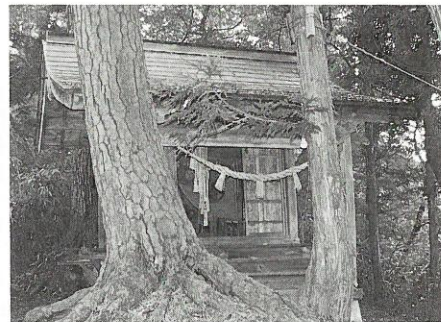
金比羅神社と古銭



管理人 館がさわまさし 正志 さん (62歳)
(下斗米字外芹沢)

舌崎から県道を、金田一川沿いに車で約十分、上海上地区の芹沢に着きます。一見、館跡と思われるような小高いところに、金比羅神社があります。

四国香川県琴平町にある金刀比羅宮(ことひらぐう)がよく知られています。古来より舟人の信仰が厚く、航海の安全を守る神としてあがめられています。上海上の金比羅神社の由来は定かではありませんが、天保二年(一八三八)金比羅大権現堂老尺五寸四方と九ヶ村神社取調村目録(明治三)に記録が残っています。



金比羅神社

当時、庶民の念願だった伊勢参りのとき、足を延ばしてよく四国(讃岐)の金比羅様へお参りしたと言います。そのときお札をもらってきた人が建立した

ものか、海上地区を統治していた者が建立したのか…。また、奇妙なことに管理人の館ヶ沢正志さんの屋敷内の畑から、以前、中国の古銭がおよそ十二*、三八〇〇枚ほど発見されています。六〇数種類に及ぶ古銭は铸造年もまちまちですが、古くは西暦六〇〇年代から千五〇〇年代のものであることが分か

かりました。「前からの辺で時々、出ていたけど、一文銭だと思って、特に気にもしなかった。畝の先に当って掘ってみたら、一ヶ所から十二*も出たときはびっくりしましたよ。金比羅さんも古銭を持ってきた人が建てたのが



古 銭

なあー」と当時のことを思い出しながら話してくれました。堂内の祭壇には、二体の獅子頭が残っています。「この獅子頭は、月山神社(上斗米小平)の獅子頭と同じ木で作られたと聞いている」と言います。また、戦時中に奉納されたと思われる兵隊さんや軍艦などの写真があります。戦地へ行った兵士の安全や航海の安全を祈願し、家族が奉納したものと思われる。境内には、幹回り四mを越える二本のハリギリ(センノキ)が石段のすぐ両脇に寄り添うように立っています。他にアカマツ、コナラ、スギやイタヤカエデ、カラマツなどの巨木が立ち並んでいます。巨木が多いこの鎮守の森には、よくフクロウが来るといいます。(祭日は年二回、三月十日と十月十日いずれも旧暦)

こよみ



10月11日～11月10日

★10月★

- 11日(土) 映画とお話の会(図書館)
- 12日(日) にのへ健康フェスティバル(ワークインにのへ・二戸市農協農業技術センター)
- 13日(月)
- 14日(火) 3歳児健康診査(市保健センター)、鉄道記念日
- 15日(水)
- 16日(木) 法律相談(市役所市民相談室)、2歳児歯科健診(市保健センター)
- 17日(金) 貯蓄の日
- 18日(土) 統計の日
- 19日(日)
- 20日(月)
- 21日(火) 4カ月児健康診査(市保健センター)、国際反戦デー
- 22日(水)
- 23日(木) 税務巡回相談(市保健センター)、交通事故相談(二戸地区合同庁舎)、霜降(二四節気)
- 24日(金)
- 25日(土) 二戸市産業まつり、カシオペア街づくり・住まいづくりプラザ(二戸市農協ひ